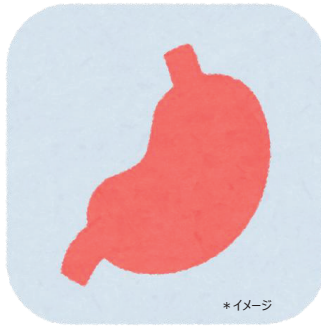


一般情報

機能性ディスペプシア
の病態

2026年7月
小林製薬株式会社

*イメージ

一般情報

【広告目的(店頭POP、チラシ、ECサイト等)の使用はできません。】

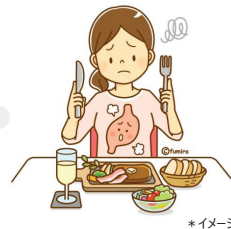
3/13

■ こんな症状に心当たりありませんか？

「食べすぎたわけでもないのに、
食べたものがずっと胃に残って苦しい」

「昔みたいに、ご飯が食べられなくなった」

「胃がもたれて眠れない」 など



*イメージ

もしかしたら

機能性ディスペプシア かもしれません！

機能性ディスペプシア (Functional dyspepsia: FD) の定義

症状の原因となる器質的、全身性、代謝性疾患がないにもかかわらず、
慢性的に心窩部痛や胃もたれなどの心窩部を中心とする腹部症状を呈する疾患。

器質的疾患：胃の内視鏡検査(胃カメラ)やX線の検査などで形のうえでの異常が観察・確認できる病気
(胃における器質的疾患とは胃潰瘍や胃がんなどをいう)

代謝性疾患：糖尿病や脂質異常症など栄養の代謝に異常を生じている病気

一般情報

【広告目的(店頭POP、チラシ、ECサイト等)の使用はできません。】

2/13



新・国民病の1位は「機能性ディスペプシア」！？

■ 日本人の多くが罹患していると思われる
新・国民病のTOP3

1位 **機能性ディスペプシア (機能性胃腸障害)**

2位 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患

3位 うつ病・不安症

同調査では機能性ディスペプシアの患者さんが増えている
と感じる医師は**86.7%**という結果に！

出典：一般社団法人日本生活習慣病予防協会

【調査時期】2023年11月6日～2023年11月9日、【対象者】全国の30代から60代の消化器内科医331名(MA)

一般情報

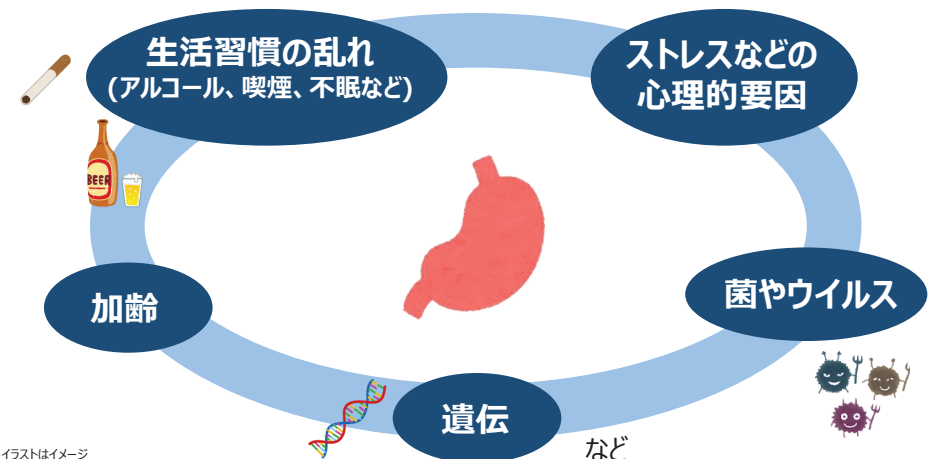
【広告目的(店頭POP、チラシ、ECサイト等)の使用はできません。】

4/13

■ 機能性ディスペプシア(Functional dyspepsia: FD)

FDの要因

FDの病態はとても複雑で、1つだけの原因でFDになるわけではない。
様々な因子が互いに影響し合い、病態を複雑にしているといわれている。



*イラストはイメージ

■ 機能性ディスぺプシア(Functional dyspepsia: FD)

代表的な症状

- ✓ 食後すぐお腹が張った感じがする「**胃のもたれ**」
- ✓ すぐにお腹いっぱいになる「**早期満腹感**」
- ✓ 胃が痛む「**心窩部痛**」
- ✓ 胃が熱くなる「**心窩部灼熱感**」

RomeIV基準

このうち1つ以上の症状が**6か月以上前に出現し、しかも直近の3か月間はその症状が続いている**ものを**機能性ディスぺプシア**と定義



FDの人の割合

健康診断を受けた人(健診受診者)のうち**11～17%**に、
病院に上腹部の症状でかかった人(病院受診者)のうち**45～53%**に
FDが見つかると言われております。

FDでは症状がどれくらい続いているかということよりも、
症状がどれくらい強いかということのほうが**QOLに影響する**。
とくに**症状の強い人は、がまんせずに早めに治療を受けられる**
ことをお勧めします。

■ 機能性ディスぺプシア(Functional dyspepsia: FD)

症状と病態

FDでは、ディスぺプシアと呼ばれる上腹部を中心とする4症状がみられる。
これらの症状は、主に**運動機能異常**と**内臓知覚過敏**によってたらされると考えられている。

運動機能異常

食後のもたれ感



胃の蠕動運動が低下し、内容物の排出が遅延することで不快感を感じる

早期膨満感



胃底部の適応性弛緩の異常により、胃が十分に膨らまないため、少量の食事でも満腹感を感じる

内臓知覚過敏

心窩部痛



胃や十二指腸粘膜が胃酸の刺激に過敏になり、量に関わらず痛みを感じる

心窩部灼熱感



胃や十二指腸の知覚が過敏になり、熱感を伴う不快を感じる

*イラストはイメージ

■ 機能性ディスぺプシア(Functional dyspepsia: FD)

症状と病態

*イラストはイメージ

運動機能異常

食後のもたれ感



胃の蠕動運動が低下し、内容物の排出が遅延することで不快感を感じる

早期膨満感



胃底部の適応性弛緩の異常により、胃が十分に膨らまないため、少量の食事でも満腹感を感じる

食後愁訴症候群 (Postprandial Distress Syndrome : PDS)

- 少なくとも週に3日、次の1つか2つを満たす
- ① つらいと感じる食後のもたれ感 (通常量の食事摂取に起こる)
- ② つらいと感じる早期膨満感 (通常量の食事を食べ残す)

消化管運動機能改善薬

アコチアミド、モサプリド、イトプリド、トリメブチン

六君子湯：胃から十二指腸への排出促進作用を有する

■ 機能性ディスぺプシア(Functional dyspepsia: FD)

症状と病態

*イラストはイメージ

内臓知覚過敏

心窩部痛



胃や十二指腸粘膜が胃酸の刺激に過敏になり、量に関わらず痛みを感じる

心窩部灼熱感



胃や十二指腸の知覚が過敏になり、熱感を伴う不快を感じる

心窩部痛症候群 (Epigastric Pain Syndrome : EPS)

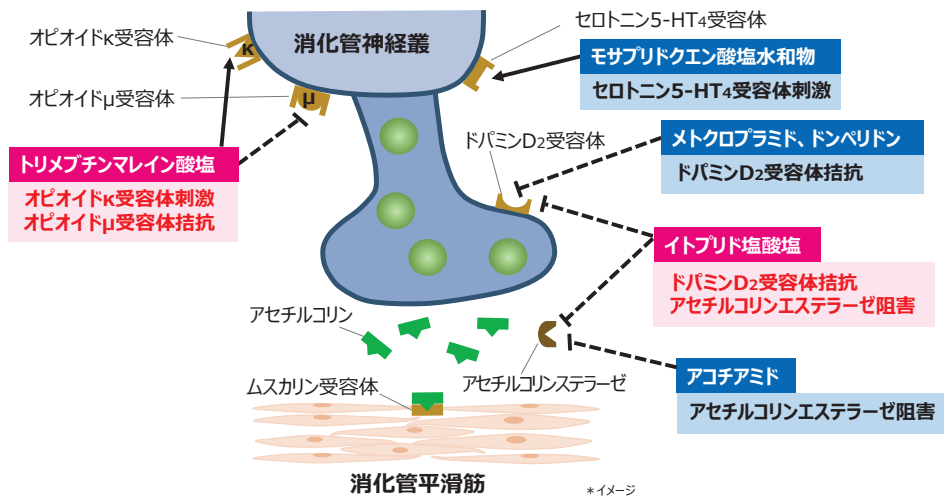
- 少なくとも週に1日、次の1つか2つを満たす
- ① つらいと感じる心窩部痛
- ② つらいと感じる心窩部灼熱感

胃酸分泌抑制薬

プロトンポンプ阻害薬、ヒスタミンH₂受容体拮抗薬

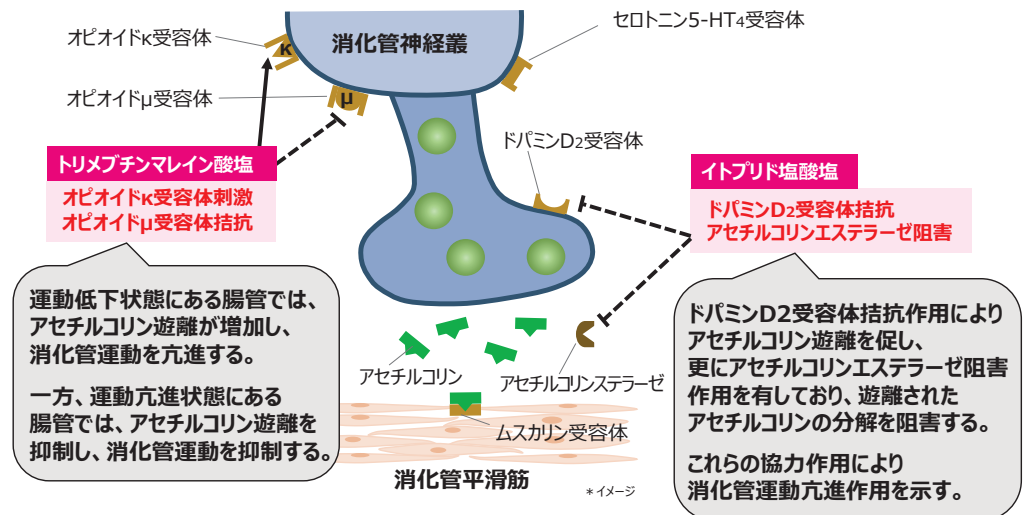
■ 消化管運動機能改善薬

主にアセチルコリン(Ach)の作用増強、またはAchエステラーゼによるAchの分解を抑制することで副交感神経を刺激し、消化管運動を強め、遅延した胃排出・通過時間の正常化、適応性弛緩障害の改善などを目的に使用される。



■ 消化管運動機能改善薬

主にアセチルコリン(Ach)の作用増強、またはAchエステラーゼによるAchの分解を抑制することで副交感神経を刺激し、消化管運動を強め、遅延した胃排出・通過時間の正常化、適応性弛緩障害の改善などを目的に使用される。



まずはライフスタイルを見直して胃にやさしい生活を！

生活習慣や食習慣を改善など原因を除去することによって症状が改善する場合があります。
胃の働きは心の状態にも大きく影響されますので、睡眠をしっかりとり、規則正しい生活やストレスの上手な解消を心がけましょう。

食事

- ✓ 脂質の多い食事を避ける
- ✓ コーヒーなどのカフェイン、刺激が強い香辛料を避ける
- ✓ よく噛みゆっくりと食べる
- ✓ 暴飲暴食は避ける
- ✓ 禁煙

運動

- ✓ 適度な運動をする
- ✓ 趣味を楽しむ

生活

- ✓ 十分な睡眠をとる
- ✓ 症状を気にしすぎない
- ✓ 規則正しい生活をするなど

*イラストはイメージ

あなたはどの胃の不調??

胃の代表的な症状



ご視聴ありがとうございました

